



2018年9月13日
東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社

栗を活用した笠間市との地域活性化施策の実施について

JR東日本水戸支社では、一般財団法人笠間市農業公社と笠間エリアの地域活性化を推進するため、生産量日本一の特産品「笠間の栗」を素材とした、プロモーション・商品開発等を実施してまいります。

1 実施の目的

JR東日本グループは地域に根差した企業として、鉄道の運行や地産品の販路拡大として各地域と協力して交流人口拡大に向け、様々な施策に取り組んでいます。今回は、笠間市の特産品である「栗」に着目し、新たなお土産品の開発、駅構内での販売等を通じて地域ブランド強化に資するお手伝いをさせていただきます。

2 地域活性化連携内容

(1) プロモーション

① イベント販売の実施「かさまオータムフェア in 水戸駅」

日時：9月15日(土)～17日(月・祝)の3日間

11:00～18:00

場所：水戸駅改札前

内容：「笠間の栗」のPRと生栗の販売

及び栗関連商品販売（焼酎・栗ジャム・栗大福・モンブランシュー等）

※500円以上購入のお客さまを対象とした抽選会の実施

※「笠間の栗」や笠間市オリジナルグッズ進呈

※笠間市観光PRの開催

② 既存店にて「栗」関連商品の販売

・「IBARAKI E-MONO（いばらき いいもの）」

・「NewDays 水戸1号」（改札脇）等

※商品例＝笠間の栗焼酎、おちぼ栗、
すいーとまるん等



笠間特別観光大使「笠間のいな吉」



商品イメージ

(2) 商品開発

「笠間の栗」を使用した駅ナカお土産品等の開発を行います。

※栗和菓子(2018年度内発売予定)

① 有限会社ナガタフーズ(笠間市)

② 有限会社 湖月庵（筑西市）



【参考資料】

『おちぼ栗』

JR 東日本グループが取り組んでいる「のもの 1-2-3」プロジェクト※の一環として、「栗」を活用した新たなお土産品として販売。(2016年1月1日から発売開始)
栗をパウダー状にして贅沢に生地に練りこんだ、しっとり・サクサクの新触感クッキーです。

価 格 : 1袋(8枚入り) 594円(税込)

販売箇所 : JR 水戸駅改札内

「IBARAKI E-MONO (いばらき いいもの)」

水戸駅ビル エクセルみなみ 3階

「IBARAKI スイーツ工房」

JR 笠間駅前

「洋風笠間菓子グリュイエール」



「おちぼ栗」イメージ

※「のもの 1-2-3」プロジェクトについて

地域の魅力ある農産物等の素材と優れた加工技術を組み合わせ、JR 東日本グループがプロデュースすることで、6次産業化に向けたものづくりを推進し、地域における新たな産業の創出とさらなるマーケットの需要拡大を図るプロジェクトです。

『笠間の栗の特徴と笠間市の取組みについて』

茨城県は栗の栽培面積・生産量ともに全国1位を誇る生産地であり、なかでも笠間市は栽培面積県内1位を誇っています。その穏やかで昼夜の温度差のある気候や、火山灰土壌など、恵まれた環境のなかでふっくらと薫り高い栗が生まれ、早生(8月下旬)から晩生(10月中旬)まで色々な品種を栽培しています。

笠間市では、笠間の栗のブランド化と栗産地の活性化に取り組んでいます。その中で、「笠間の栗」の統一ロゴマークを制作し、生産者や加工者に使用してもらうことで更なる栗のブランド化を図っています。



「笠間の栗」ブランドロゴ